



2008ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会レース速報 井出が4位と健闘。日本選手の意地を見せる

田山は惜しくも9位となるも、積極的にレースを展開

4月13日(日)、沖縄県石垣市の登野城漁港特設コースで、2008NTTトライアスロンジャパンカップ第1戦・ITUワールドカップ石垣島大会が開催された。日本のシーズン開幕戦であるとともに今シーズンのワールドカップ3戦目。今年で13年目の歴史をもち、海外の選手からも高い人気を誇っている。今回は北京オリンピック開催年であることから、例年以上に世界各国から強豪が集った。

午後1時ちょうどスタートの女子は、今年のITUトライアスロンワールドカップ第1戦であるムールラバ大会を制したエマ・スノーシル(オーストラリア)がスイムから積極的なレース展開を見せる。スイムを2周回ともトップであがるとそのままバイクへ移り、スイムを得意とする古谷あかね(トヨタ車体)らを含めた8名の選手で第1集団を形成した。

2周回目終了間近、井出樹里(トーチンパートナーズTeam Ken's)、忽那静香(トーチンパートナーズTeam Ken's)、田中敬子(NTT東日本/NTT西日本/スカイタワー58)ら日本選手と、ニコラ・スピリグ(スイス)などを含めた10名の第2集団が第1集団に追いつき、18名の新たなトップ集団ができあがった。この集団は、後続に2分15秒以上の差を付けてランへ入り、優勝争いはこの18名で競われることとなった。

ランでもスノーシルの勢いは衰えない。後を追うエリン・デンシャム(オーストラリア)やホリー・アビル(イギリス)との差を少しずつ広げていく。一方、ランを得意とする井出も3位争いを繰り広げる。終盤、スノーシルとデンシャムとの差は約30秒、2分近くの差でアビル、井出が追う。そしてスノーシルがそのままトップを守り、今シーズンのワールドカップ2勝目をあげ



昨年新調されたボンツーンから、男子のスイムスタート

井出 樹里
トーチンパートナーズTeam Ken's



3位争いで3回スパートをかけたが、結局相手に付いてこられてしまった。最後には離されてしまい、そのあとは追いつくことができなかった。最初のスイムでもう一つ前に位置であがり、バイクでは初めから第1集団に入りたかった。それが残念に思う。

田山 寛豪
チームテイケイ



大好きな石垣島を初戦にしたのだけれど、勝てなくて残念だった。ランで追いつかれた後続の選手たちのような走りをしなければならなかった。それでも、バイクでも力を出し切れて戦ったので、悔いはない。次の戦いは、5月のアジア選手権。

JTU Official Sponsors & Official Partners



P.1/P.2

た。2位にはデンシャムが入り、井出はアビルとのラン勝負で負け、惜しくも表彰台を逃して4位となった。

そのほかの日本選手の結果は田中15位、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)20位、忽那23位、古谷28位、庭田清美(アシックス・ザバス)31位、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)34位、大松沙央里(トヨタ車体)35位。

午後3時45分スタートの男子は、田山寛豪(チームテイケイ)がスイムからバイクにかけて積極的なレース展開を仕掛けた。

バイクではシドニー・オリンピックの金メダリストであるサイモン・ウィットフィールド(カナダ)らとともに第1集団をつくり、山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)、杉本宏樹(チームテイケイ)、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一(ウイダー)を含む第2集団を終盤まで引き離す。

ランに入ると第1集団からウィットフィールドら数名の選手が飛び出し、優勝争いの人数は徐々に絞られていった。結局、最後はトップを走るウィットフィールドをラスムス・ヘニング(デンマーク)らが追う状態に。しかし、ウィットフィールドは最後までトップを守り、そのまま優勝した。ヘニングが2位。田山は惜しくも9位となった。

そのほかの選手の日本選手の結果は、細田18位、山本良介24位、杉本32位、山本淳一35位、佐藤治伸(日本食研)36位、西内洋行(西京味噌)38位。

北京オリンピックには5月3日(土)のASTCアジア選手権グアンズー大会(中国)に優勝、または6月8日(日)のITU世界選手権バンクーバー大会(カナダ)で3位に入れば出場決定となる。そのほかの出場選手たちは今回の石垣島大会を含めたITUワールドカップ、そのほかのITUコンチネンタルカップでポイントを重ねるオリンピック出場ポイントの順で、出場が決定する。各国の最大出場選手枠は3名まで。

なお、今回のレースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。



スイムトップの余勢をかって、バイクで積極的に攻めるスノーシル

エマ・スノーシル
オーストラリア



ムールラバ大会以来好調を維持しているが、今回の優勝が保証されているわけではなかった。それでも勝てたことがうれしい。スイムコースは美しく、バイクもランも良いコース。何より今日は暑くなかったことが幸いした。今回の優勝で、北京オリンピック代表の座を確実にしたと思う。

サイモン・ウィットフィールド
カナダ



優勝することができたことで、北京オリンピックへ向けて良いスタートが切れた。暑くなくて、いいレースができた。石垣島の方たち、例えば野球少年たちや踊りを踊ってくれた女性たちなどの応援が本当にすばらしかった。日本は好きな国で、そこで勝てたことがうれしい。

JTU Official Sponsors & Official Partners

